

平成25年度 第4回鳥取市景観形成審議会 議事録 要旨

日時：平成25年12月4日（水）13：30～15：45

場所：鳥取市役所本庁舎4階第2会議室

審議委員 芦澤喜武委員【会長】、中橋文夫委員【副会長】、平井覚委員
来田裕子委員、池本義隆委員、松島勇委員、西山靖代委員
竹内秀徳委員、房安一也委員、平尾司砂委員、木下正昭委員、飼牛明委員（欠席）
事務局 鳥取市都市整備部 大島英司部長、都市企画課、国森洋次長兼課長
山本勝信景観形成係長、本部良技師、廣谷一茂技師
都市環境課 綱田正課長、坂本武夫主査兼係長
都市緑化推進室 三谷裕之室長
道路課 谷口浩章課長
中心市街地整備課 楠本博課長、岡和弘課長補佐
建築指導課 桑村和滋課長

■ 審議会の経過

1 開 会

2 あいさつ

- (1) 会長あいさつ
- (2) 都市整備部長あいさつ

3 議事

- (1) 風紋広場北東側植栽について
- (2) 風紋広場モニュメント取扱い方針の公表及び意見募集について
- (3) 風紋広場へのトイレ設置について
- (4) ガーデンシティ会議の設置について
- (5) 駅南ロータリーの市民PR用パンフについて
- (6) 空き家適正管理条例案について
- (7) 鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン（案）について
 - ①お堀端道路景観整備について
 - ②地域資源の観光資源化提案に対する取り組み状況
 - ③県立博物館の古地図情報システムについて

4 その他

5 閉 会

■ 議事内容

3 議事

(1) 風紋広場北東側植栽について

※事務局から資料1を用いて報告：略

芦澤会長) 鳥取県が植栽など整備してから鳥取市が移管を受けるということですね？

事務局) はい。

池本委員) ヤマナシ・アズキナシは緑化フェアで使用され脚光を浴びていますが、これが大きくなるまでどのくらいかかるのかなどを考えながら樹種を選定された方がいいと思います。また、維持管理が一番重要です。今植えてあるマテバシが空洞化していると言われますが、空洞化した理由があるはずです。ですから、何か植えるにしてもきちっと後の管理をしていくことが前提だと思います。

芦澤会長) 私も同意見です。専門的な意見を言わせてもらいますと、ヤマナシ・アズキナシは適切で無いと思います。風紋広場に植えるのは街路樹や公園樹等に適したものを植えるべきだと思います。ヤマナシは白い花が咲きます。看護学校の壁面の色が白色系なのに、その前に白い花が咲いても意味がありません。もう一つは、ヤマナシ・アズキナシは虫がつき易く、排気ガスにも弱い。それよりも緑陰を作るということで、大きな建物を目立たなくするために植えることですから、マテバシやイチョウなんかもいいと思います。その他にもシナノキ、センダン、シンジュ、ユリの木なども合うと思います。十分専門家に相談しながら樹種の選定をしてほしいと思います。

中橋副会長) 建物を映えさせるだけでなく樹木自体の樹形を見せるような緑の形、そこにさらに維持管理が容易なものについて議論して検討しなければならないと思います。

木下委員) 「2 内容」について最後に記述してある「高さ 1.5m～2m 程度の木」が気になっています。10年や15年といった長いスパンで見れば大きくなるのでいいと思いますが、最初から低すぎると思いますので、最初から高さ 3m～3.5m 程度の木が欲しいと思います。そうでなければ景観上も全体の木の高さが揃ってくるまでにかなりの年数を要すると思います。

芦澤会長) 次の議題にも関連しますが、時計台やモニュメントなどを含めて総合的に広場のあり方を検討してその上で樹種の選定をやってほしいと思います。

事務局) 頂いた意見を基に鳥取県と協議しながらいいものにしていきたいと思っています。

(2) 紋広場モニュメント取扱い方針の公表及び意見募集について

※事務局から資料2を用いて報告：略

芦澤会長) このモニュメントは有名な芸術家がデザインされたものですか？

事務局> 鳥取県が設置する際にデザイン会社と協議しながら作成されたもので、有名な芸術家がデザインされたものではありません。上空から見た時におしどりになるように時計台は頭、おしどりアーチが尾っぽになるようにデザインされたと聞いています。

芦澤会長) この時計台は見た目が特殊であり時計だと一般的に認識されていないと思います。この時計台は修復する予定ですか？

事務局> はい。今まで4面に時差をつけてロンドンとか各都市の時間を表示していましたが、今回わかりやすく日本時間だけを表示するようにしています。

芦澤会長) その日本時間も非常にわかりにくいと思います。日本時間の表示が特殊なので説明を読んで初めて理解するくらいわかりにくいです。どうしても時計台が必要であるというのであれば、トイレを作ってその上に時計を表示する機能をもたせたものを作ってみてもいいのではないかと個人的に思います。それで鳥取初の有料トイレにして、トイレらしくない、きれいなトイレを作るというのも1つの案だと思います。

事務局> 頂いた意見を基に鳥取県と協議して整備してもらいたいと思います。

芦澤会長) 広場全体のレイアウトを変更することまでは考えていないのですかね？

事務局> おしどりアーチを指定地として色々なイベントをして使い慣れている団体さんも多いです。検討するのであれば、使っておられる方の意見を聞いて進めていくのが本筋ではないかなと思います。

(3) 風紋広場へのトイレ設置について

※事務局から資料3を用いて報告：略

中橋副会長) 鳥取市街地中心部に防災公園がありませんよね？ですから風紋広場に防災機能を入れたほうが良いと思います。その上でモニュメントやトイレといった広場全体のあり方をどうするのがいいか議論した方がよいと思います。

芦澤会長) 副会長のおっしゃったとおり防災機能を含めた風紋広場全体のあり方を検討してほしいと思います。

事務局> ケヤキ広場は道路空間なので公園としての使い方はできませんが、風紋広場と一緒に鳥取県から移管を受けることになっていますので、年明けに JR や商店街など周辺関係者を含めた会議を持ちたいと考えます。防災関係者にも参加して頂いて風紋広場だけでなく、ターミナル、ケヤキ広場含めて防災機能をどうしていくかという観点も考えていくようにします。

(4) ガーデンシティ会議の設置について

※事務局から資料4を用いて報告：略

池本委員) メンバーが多く組織のトップばかりですが、ガーデンシティを専門に扱うメンバーはいないのですか？

事務局> メンバーが多い理由は、公園以外の公共施設になぜ緑がいるのか、なぜ街路樹が必要なのかといった話を全庁内に広げるために全庁的な組織となっております。緑化推進室、農林水産部、生活環境課といったところが中核となって考え、それを全庁内で話し合い進めていきたいと思っています。

中橋副会長) 緑の基本計画を見直す際に「従来の環境保全」、「防災」、「景観」、「レクリエーション」といったメニュー全てを緑の基本計画で練り直す必要があると思います。都市の成長管理計画を是非やってほしいと思います。

来田委員) 個人的な意見ですが、ポール・スミザーさんにアドバイスをもらうのもいいと思いますが、緑化フェアをいつまでも引きずらないようにまずは鳥取らしさを打ち出していただきたいと思っています。

事務局> ナチュラルガーデンは鳥取に導入した資産の一つですが、あくまでもパーツの一つとして大事にしていきます。ナチュラルガーデンを続けていけば鳥取の一つの財産になると思いますが、このナチュラルガーデンに鳥取の緑を統合していこうとかそこまでは言えません。鳥取らしさを外部に向けて発信していくにあたり、だれにでも通じるものが必要ということでナチュラルガーデンを一つの旗印にしたものです。鳥取の魅力を伝えるため鳥取緑化スタイルというキーワードを作りましたが、そこにナチュラルガーデン以外の形の鳥取の緑の魅力をうまくのせていけなかったことがおっしゃるとおり隠れた課題の一つであり、今後の取り組みの中でとじてきちんと向き合いたいと思います。

中橋副会長) 資料の最後に添付されている【広域ネットワークを活用した「都市整備部版滞在交流型まちづくりビジョン」(イメージ)】について意見を言わせてもらいます。「住みよい街が訪れたい街」と書いてありますが、これだけだと観光客はすぐいなくなると思います。何故ならこの三角形のトライアングルの中に東部の核となる施設がないからです。この三角形の真ん中に車を利用しての滞在型の何かを考える必要があると思います。

事務局> 核となる施設とみなさんおっしゃられますが、イメージが絞り込めず永遠の課題になりかけているように思いますので、ビジョンの具体化の中で検討を進めることとさせていただければと思います。

中橋副会長) 自然地形を活かしたオートキャンプ場を検討してはいかがでしょうか？

木下委員) ナチュラルガーデンという新しい形を見せてもらいましたが、今後どうやって次世代に活かしていくのか。ナチュラルガーデン一辺倒ではいけないと思いますが、長いスパンで計画を立てて進めてほしいと思います。

(5) 駅南ロータリーの市民PR用パンフについて

※事務局から資料5を用いて報告：略

芦澤会長) 緑化フェア会場の草花はもう移植されましたか？

事務局> 今一時保管していて今年度中に植える予定にしております。

芦澤会長) 花や木の維持管理はどうされるのですか？

事務局> 今後の維持管理につきましては委託に出していく予定にしています。

中橋副会長) ナチュラルガーデンのスケッチが描いてありますが、どのような種類の草花とか配色になるかをお聞きしたいのですが。

事務局> これはイメージ図でして、現在会場から仮移植している植物を基に、どういう配置にするかという設計や移植に関しては造園協会にお願いしているところです。

(6) 空き家適正管理条例案について

※事務局から資料6を用いて報告：略

芦澤会長) 最初の資料 P1 の図 1 に記載してあるその他とはどのようなものが当てはまるのですか？

事務局> 工場や養鶏場跡等といった一般的な空き家に当てはまらないものです。

芦澤会長) 2つ目の資料 P1「3 条文の主な内容」に記載されている「寄付の受け入れ」や「助成」の要件とはどのような要件なのですか？

事務局> 詳細な規則に関しては現在整備中です。

芦澤会長) 個人の財産に公的資金を投入するとなると公平であるという理念が必要となってきますので、規則に関して十分検討してほしいと思います。

房安委員) 所有者が特定出来ず税金を徴収出来ない状態のところは、どのような形で寄付を受け入れるのでしょうか？

事務局> 所有者の血縁関係を調べて、その血縁関係者に寄付の条件を説明して同意をもらい進めていきます。

房安委員) 何かの事情で固定資産税を納めていない空き家に関しては、倒壊の恐れも有りますので、個人的には取り壊したほうが良いと思います。

事務局> 今おっしゃられたケースを研究したいと思いますので、具体的なケースを教えてください、建築指導課や固定資産税課といった庁内の関係課でどういうふうに対処していくか検討させていただければと思います。

池本委員) 空き家が立っている場合の税金と更地にした場合の税金がずいぶん違うと聞いたことがあります。そんなに違うものなのでしょうか？

事務局> 通常言われているのは更地にすると 6 倍違うと言われていています。最初は土地と建物に税金がかかっていますが、仮に土地の税金が上がっても次は建物の税金がかからないので、6 倍にはならないと思います。

芦澤会長) 今後色々な問題が起こると思いますから、空き家適正管理条例を運用しながら徐々に変えていかなければならないと思います。

(7) 鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン(案)について

※事務局から資料7を用いて報告：略

芦澤会長) 観光客に向けて積極的に情報発信を行っていくべきだと思います。来年の大河ドラマは羽柴秀吉の軍師「黒田官兵衛」です。先取りしてイベントか何かしてみてもはどうでしょうか？

事務局> 「黒田官兵衛」は原作がなく脚本家が書き下ろすようでした。黒田官兵衛自身が鳥取城攻めに従軍していなかった説もある中で鳥取の取り上げられ方が予測がつかずイベントを計画しづらい状況です。ですが鳥取城跡周辺の情報発信には取り組んでいきます。教育委員会が来年山城サミットを鳥取で開催すること、及び鳥取城跡周辺で文化財保護としてどう取り組んでいくかということについて12月7日に新聞折り込みの広報を予定しているところです。

芦澤会長) お堀端道路整備に関連してのことですが、久松緑地というのは、あの場所から仁風閣や石垣などが一度に見える場所として私が設計したものです。そのことを活かしてほしいと思っていますが、あの周辺は看板等が乱立していて石垣が見えない状況にありますので整理してほしいと思います。

池本委員) 久松公園周辺に駐車場が少ないので車で来られた方は不便であると思われます。景観を考えながら駐車場問題を解決していくべきだと思います。

芦澤会長) 宝珠橋前の駐車帯は景観上よろしくないのを撤去してほしいと思います。また、撤去に伴い代替の駐車場が必要になってくるとは思います。民間の有料駐車場を利用する等といったことを踏まえ、一度鳥取城跡周辺を整理する必要があると思います。

事務局> 29号線からお城側の民家辺りまでの駐車場の台数を調べていますので、整理できれば一番いいと思います。